

Fukui SELP ◆ 福井県社会就労センター協議会広報誌 いいセルフ

<http://www.e-selp.org/>

# e-Selp Vol.17 2021.3



福授園の小松菜収穫風景

タイトル「e-selp」“いい仕事をいい笑顔で”をモットーに、“いい”と“e”を掛け言葉にして表現しました。ふくいセルフはいいセルフをめざします。



# 会長挨拶

福井県社会就労センター協議会

会長 朝日正幸

昨年から世界中でパンデミック（感染拡大）する新型コロナウイルスの影響により、世の中が変化し、これまでとは違う新年度のスタートとなり、人類にとって未曾有の危機にさらされ続けた1年でした。ワクチン接種は、2月中旬に医療従事者の先行接種が始まり、順次進められてはいますが、いつ終息するのでしょうか。

各福祉事業所では、利用者が楽しみにしていた色々な行事の殆どが延期や中止をせざるを得なくなり、毎日交わす「おはよう、こんにちは」など、顔を合わせての挨拶が揺るぎ、これまで利用者の声と笑顔にどれだけ元気をもらってきたことか、残念であります。

昨年10月にコロナ感染症対策のことで当セルプ協が各事業所に実施した調査では、仕事上・送迎・施設内外活動・食事などで様々な工夫をし、利用者や保護者に不安感など持たせないよう支援している様子がうかがえました。

新型コロナウイルス感染拡大により社会のあらゆる分野にダメージを与え、状況が一変し経営悪化の影響で、雇用を維持できなくなったことが一因で、昨年2月から6月の間に企業などを解雇された障害者数は1140人で、去年より40%上昇し、昨年同期比で152人増加したことが厚生労働省のまとめで分かりました。

ソーシャルディスタンスを守り3密を避け「新しい日常」「新しい生活様式」「新たな仕事の形」を構築し、これからも新型コロナウイルス禍に負けない「気持ち」と「体づくり」に心がけていただき、利用者への支援や施設運営を考えていかなければならぬと思います。

## 研究部会活動報告

### ①事業所紹介

NPO法人ぴーぶるファン

障害福祉サービス事業所

ファンズ3  
スリー

私たちは、

『障害のある人の人生を輝かせる職場の提供と  
人生を楽しむ暮らしを支援する』

を、基本理念として支援しています。

主な作業活動は、ビニール加工や軽作業、施設外就労、その他にも自主事業で各種商品の小売りも行っています。

また、就労を支える最も重要な事業として各種セラピー（各種鍛錬会・カルチャー講座）を行っています。

平成31年4月  
越前市杉尾町 越前市社会福祉センター内に設立  
定員20名（現員12名 R2年10月現在）で開所

生活介護 定員10名（現員3名）  
就労継続支援B型 定員10名（現員9名）



## ②新型コロナウイルス 感染予防対策のまとめ

項目	始まり	終わり
マスク等の着用		終息するまで
自宅での検温		終息するまで
事業所での検温	・県内で直前1週間20人発症 ・奥越地区で発症	最後の発症者から 2週間後
事業所での手指消毒		終息するまで
事業所の換気		終息するまで
事業所の消毒	・県内で直前1週間20人発症 ・奥越地区で発症	最後の発症者から 2週間後
送迎車の換気や消毒	・県内で直前1週間20人発症 ・奥越地区で発症	最後の発症者から 2週間後
昼食時の配置や時間差		終息するまで
職員の健康管理チェック表	・県内で直前1週間5人発症 ・奥越地区で発症	最後の発症者から 2週間後
来訪者の健康管理チェック表及び検温と手指消毒		終息するまで
日中一時支援事業の中止	・県内で直前1週間20人発症	
スポーツレクリエーションの中止	・奥越地区で2週間前～前日発症 (各種行事については行事ごとに判断)	
各種行事の中止		
濃厚接触者等	・PCR検査陽性 ・PCR検査陰性	・2週間以上休み ・検査結果後3日まで休み
感染の症状がある者	症状が出た日	3日以上休み
県外への外出や県外からの来客の報告(職員・利用者とその家族)		終息するまで
県外への外出	・感染拡大注意地域	・1週間以上休み
県外からの来客	・感染拡大注意地域外	・5日間休み

## 施設での新型コロナウイルス対策感染防止について

約1年前より世界的に感染が広がった「新型コロナウイルス」。

医療機関では、崩壊しつつあるというニュースもたくさん耳にすること思います。

また介護施設では、クラスターが発生している施設もたくさんあります。

・作業をする際は、午前・午後と利用者を半分に分けて、対面にならないようにする。

・外部からの慰問や研修、買い物外出は禁止とする。

・事業所同士の利用者、職員の交流は控える。

・午前、午後ともに廊下や手すりなどの消毒を徹底。

・職員が出勤した際は、手洗いうがいを実施する。

などと、いくつかの決まりが今でも続いているという状況です。

世界中にはたくさん新型コロナウイルスに苦しんでいる方がいらっしゃいます。

今ワクチンが接種できるという希望の光も見えてきてます。この時だからこそ、協力できるところは協力し合って、助け合って、1日でも早く収束できるよう頑張っていきましょう。



光道園コロナ対策の作業風景

### 【新型コロナウイルス 感染拡大予防ガイドライン】

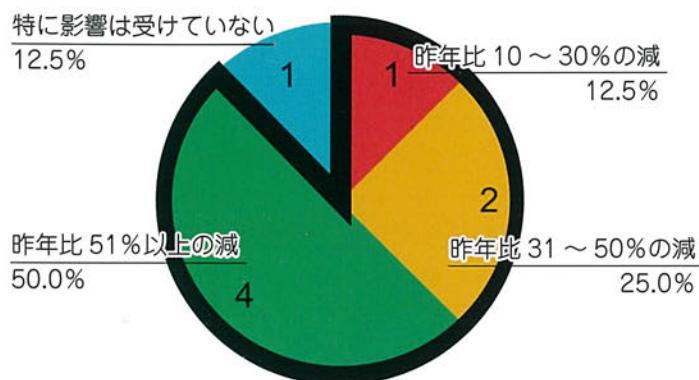
状況	全般	利用者	職員(世話人含む)	来訪者	グループホーム利用者
県外発生期～拡大期 ・県外において感染者が確認され、感染拡大傾向にある	感染拡大防止対策の実施 ・3密の回避 ・感染状況に応じ、日中一時、行事等の実施を検討 ・不要不急の外出の自粛 ・発熱(37.5度以上)、咳、だるい等、感染の症状がある場合は自宅療養	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(自宅) ・利用者、家族が県外への外出または、県外からの来客がある場合は事業所へ連絡し、適宜に自宅待機等の検討や要請	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(自宅) ・健康チェック表記入 ・利用者、家族が県外への外出または、県外からの来客がある場合は所長へ報告し、適宜に自宅待機等の検討や要請	・マスク着用 ・手指消毒 ・検温 ・健康チェック表記入 ・入館を自粛してもらうが、入館する場合は原則所長室にて対応	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(グループホーム) ・利用者、家族が県外への外出または、県外からの来客がある場合は事業所へ連絡し、適宜にグループホームもしくは自宅待機等の検討や要請
県内発生期～感染期 ・県内において感染者が確認され、感染拡大傾向にある	感染拡大防止対策の強化 上記に加え ・事業所、送迎車の換気や消毒 ・昼食時の配置変更、食事の時間差	上記と同	上記に加え ・健康チェック表記入	上記と同	上記と同
各地域発生期～感染期 ・各地域において感染者が確認され、感染拡大傾向にある	感染拡大防止対策の継続 上記と同	上記に加え ・検温(事業所)	上記に加え ・会議時間の短縮、延期、中止	上記と同	上記と同 ・食事は3密を避けて取る
感染収束期 ・県内および各地域において新たな感染者が4週間程度確認されていない	感染拡大防止対策の継続や段階的な緩和	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(自宅)	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(自宅)	上記と同	・マスク(フェイスシールド)着用 ・手指消毒 ・検温(グループホーム)
感染(疑い)者が発生した場合 ★疑いとは、PCR検査が受けられず、感染の症状がある者	疑いの場合 ・帰国者・接触者相談総合センターに相談(0776-20-0795) ・家族等に報告 感染の場合 ・市に報告 ・家族等に報告 ・相談支援専門員に報告 ・嘱託医等に報告 ・各健康福祉センターの指示に従い対応 ・濃厚接触者の特定に協力 ・事業所休業の可能性あり ・関連事業所や取引会社等に連絡 ・実習先、施設外就労先に連絡 事業所営業再開時の連絡	・利用者、家族が感染(疑い)、または感染(疑い)者と濃厚接触したことが分かった時点で利用を停止(一週間以上) ・家庭内において、部屋や食事などの生活空間を分ける ・入院や自宅待機等、各健康福祉センターの指示に従う	・職員、家族が感染(疑い)、または感染(疑い)者と濃厚接触したことが分かった時点で出勤を停止(一週間以上) ・家庭内において、部屋や食事などの生活空間を分ける ・入院や自宅待機等、各健康福祉センターの指示に従う	・事業所内入館禁止 ・来訪者が感染(疑い)、または感染(疑い)者と濃厚接触したことが分かった場合は情報収集し、対応する	・感染(疑い)、または感染(疑い)者と濃厚接触したことが分かった時点でグループホームもしくは自宅にて待機し、外出禁止(一週間以上) ・食事は各部屋にて取る ・入院やグループホームもしくは自宅待機等、各健康福祉センターの指示に従う ・グループホーム内で療養を行う場合は厚労省事務連絡を参考に、必要な準備や感染症対策等を行う

★今後、感染状況に応じて変更の可能性があります

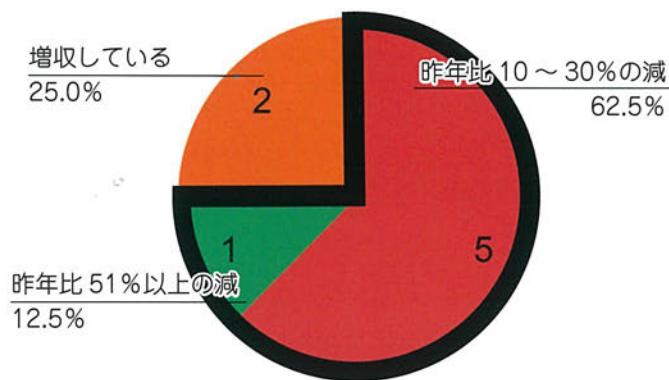
【コロナ禍における各作業及び事業所の稼働状況や利用実態について（昨年度及び本年度における、4～6月期を比較）】

## ○就労継続支援 A型事業所（回答事業所数：8）

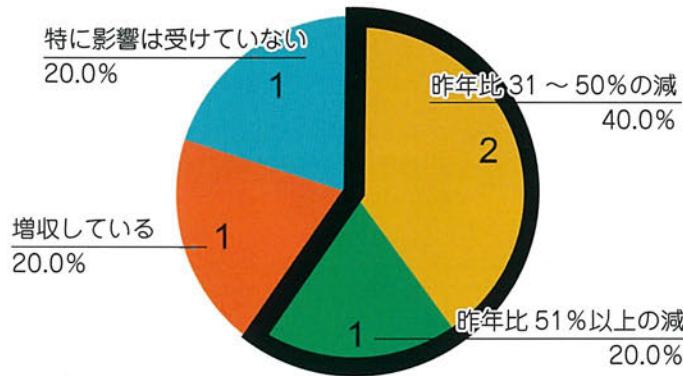
【受託作業】減収した事業所の割合 [87.5% 減]



【自主製品制作】減収した事業所の割合 [75% 減]



【施設外就労】減収した事業所の割合 [60% 減]



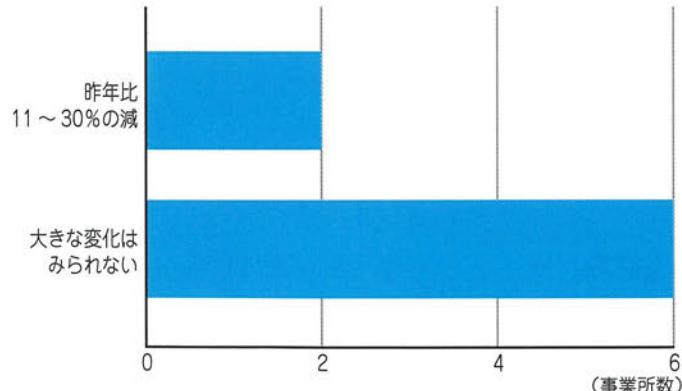
○各作業を実施している事業所で、減収傾向を示す事業所の割合は、全作業とも 60%を超えていた。

また、受託作業や施設外就労に於いては、昨年比 3割～5割以上の減収傾向にある事業所が殆どであった。

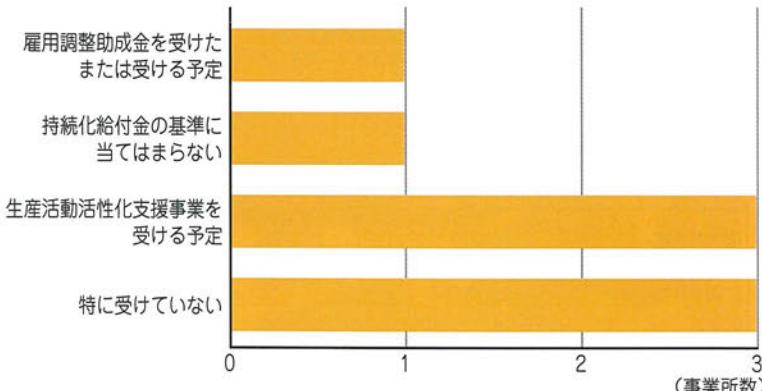
○回答事業所全てが通常営業を実施しており、その内延べ利用者人数が減少していたのは 25% であった。

○各助成付金等については、半数の事業所が非該当等の為に受給できていない。

延べ利用人数について（開所日の合計利用人数の比較）



給付金などの支援措置について

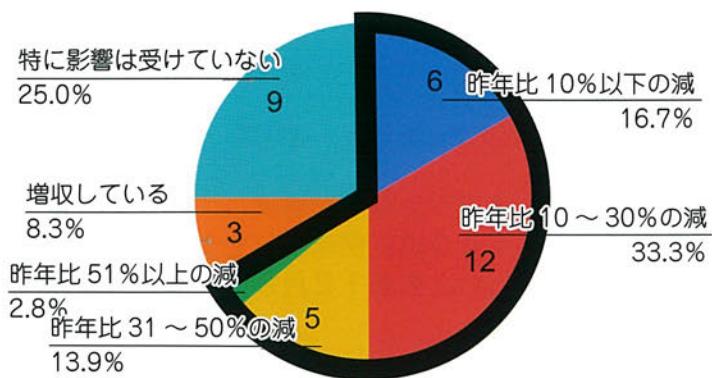


### 国、県の施策に対する意見や要望

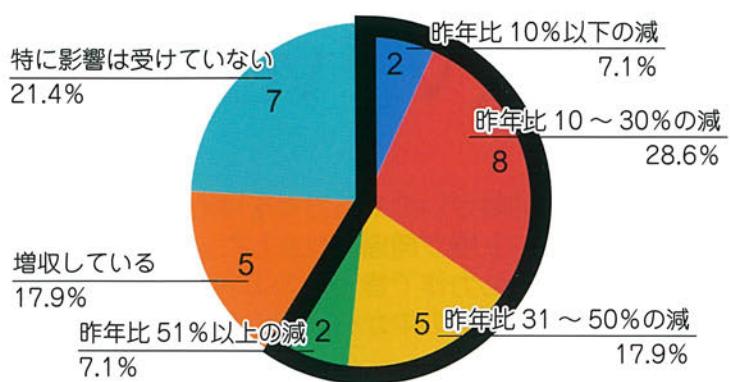
- 助成金の要件で、事業所単位では要件を満たすことがあっても、法人全体の要件となっていて対象にならないものもあるなど、もう少し要件の幅を広げていただきたい。
- 優先調達の強化
- 報酬単価で前年度実績によるものがあるが、来年度はコロナの影響をうけることが大いに予想される為、色々と緩和してもらいたい。

## ○就労継続支援 B 型事業所（回答事業所数：39）

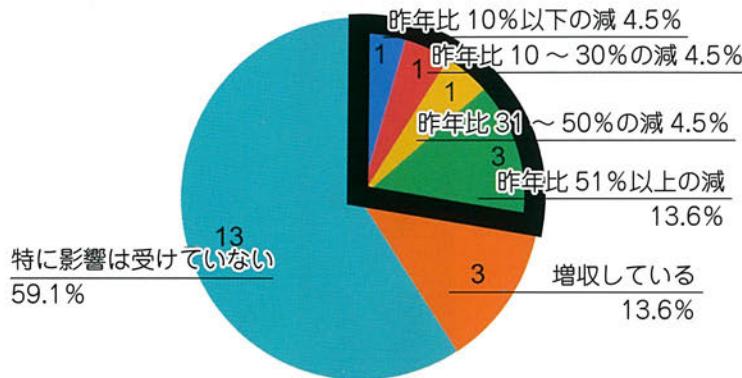
【受託作業】減収した事業所の割合 [66.7% 減]



【自主製品制作】減収した事業所の割合 [60.1% 減]



【施設外就労】減収した事業所の割合 [27.3% 減]

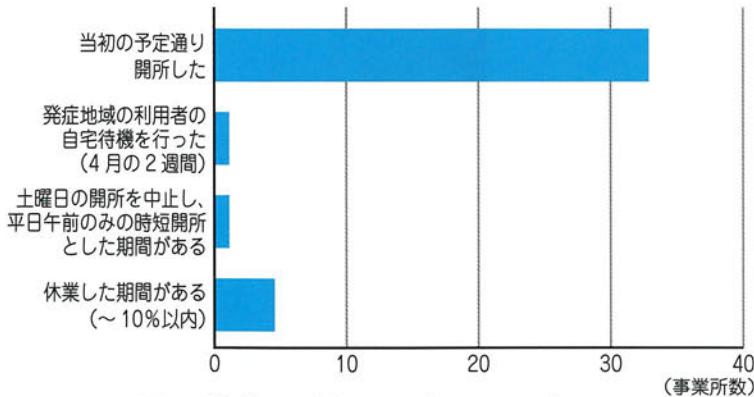


○受託作業並びに自主製品制作を行う事業所の半数以上で、減収傾向がみられる。

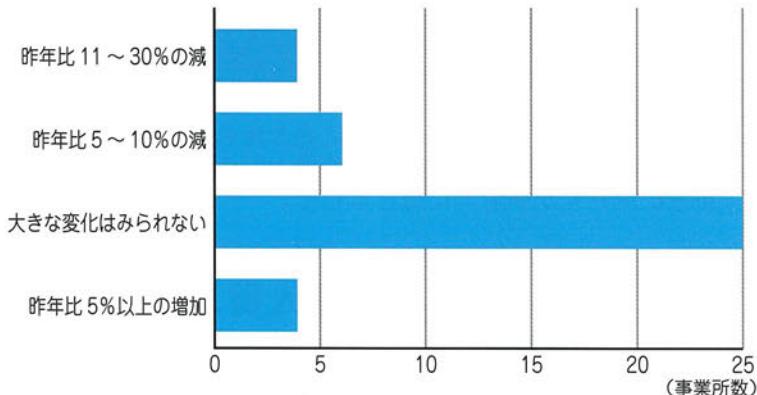
施設外就労においては一部減収傾向にあるものの、新型コロナ感染拡大防止に向けた対策をしても、実施する中で感染のリスクがあることに対する不安の意見が上がっていた。

○全回答事業所中の約 8 割が通常通り開所しており、延べ利用者数は約 3 割弱で減少していた。

開所日数について（合計開所日数の比較）



延べ利用人数について（開所日の合計利用人数の比較）



### 国、県の施策に対する意見や要望

- 福祉ニーズを的確に把握して、具体的な施策を展開してほしい。
- 利用者の工賃確保のための軽作業の提供をお願いしたいです。
- 工賃変動積立金の現状の仕組みは条件が厳しく縛りが強いため活用しにくい。もっと活用しやすい仕組みにして緊急事態への対策をしていただきたい。
- 報酬単価で、前年度実績によるものがあるが、来年度は、コロナの影響大であるので、緩和してもらいたい。
- コロナ感染を恐れて欠席している方の給付については出席扱いにしてほしい
- 生産活動活性化支援事業に関しては、生産活動収入が相当程度減った事業所に限り最大 50 万円一時金を補填するとなっており、限定的な施策と感じている。WITH コロナの新たな生活様式にシフトしていく中で、イベントの中止や消費活動の形態が変化していくことにより、生産活動収入の落ち込みは一時的なものではなく、長期化することは明らかであり先行きが大変不安である。支給対象が広がる様な要件の設定や、新たな施策を期待する。
- 優先発注も含め、取引先や販売先確保と継続的な支援が必要
- 国のみならず、県や自治体独自の給付金があると職員や GH 世話人等の励みになる。

# アル・ブリュット展 ふくいvol.6

テーマ  
**「あそぶ」**

会場 熊川宿若狭美術館 令和3年1月28日(木)~2月1日(月)  
福井県立図書館 令和3年3月9日(火)~3月14日(日)  
主催 福井県知的障害者生活サポート協会 / 福井県

県内の知的障がいのある方々を中心に創作された絵画・書道・写真・オブジェなどを募集し、第6回アル・ブリュット展が開催されました。今年はコロナの影響で募集作品も140点と例年よりも少なくなりましたが、どれも力作で皆さんのエネルギーが伝わってくる作品ばかりでした。去る12月8日に厳選なる審査を経て、4部門の中から大賞に選ばれた作品を紹介したいと思います。

## <絵画の部大賞>

作者名  
作品名

金魚  
あいの里

通所部



審査員講評

襖の取つてのある支持材の上に赤と青と黒の色彩を展示してあるだけでも注目をひく表現力だが取手を金魚の目玉に見立てた想像力に驚きました。 芹川 貞夫

## <書道の部大賞>

作者名  
作品名

光輝  
大清水

俊



審査員講評

線質強く、濃墨で筆の運筆も見事に決まっている。明るく力強くみどころをしっかりとおさえた素晴らしい作品に仕上がっています。 青柳 吟風

## <写真の部大賞>

作者名  
作品名

美しい芝桜  
松明

俊平



審査員講評

田植え前の田起しの情景でしょうか。雲一つない澄みきった青空。遠景の山並み。手前の芝桜の赤紫色が画面を引き締めて見る人の印象に訴えかけます。大変きれいな写真です。素晴らしい!! 水島 真吾

## <オブジェの部大賞>

作者名  
作品名

宝船  
斎藤

達也



審査員講評

波間に浮んでいる宝船を巧みにカラフルな紙を使って表現してあります。泳いでいる魚を細かくナイフで切つてあり、下地模様の紙とマッチしています。 三田 松一郎

# 敦賀市社会福祉事業団 グループホーム

テーマ  
**「くらす」**

私たちのグループホームを紹介します。

5名ずつのホームが2棟あり、皆さん仲良く協力して生活しています。

今年は新型コロナの影響で、外出などはなかなかできませんが、ホーム周辺でできるミニ行事で楽しく過ごしました。食事も棟ごとで別々にするなど工夫しています。

来年は、みんなでどこかに行けるといいな～と思っています。



# 社会福祉法人 はこべ福祉会 はこべの家

地域の人との触れ合いの場  
なびカフェ「星の子」

平成25年4月より、美浜町生涯学習センター「なびあす」内の喫茶ルームで美浜町の指定管理業者として、喫茶店を営業しています。昼食時には役場の職員さんや近隣の関西電力の職員さんを中心に、定食や麺類など食事を提供しています。店は、正面玄関を入り左手すぐに位置し、店内は2面が全面ガラス張りで、非常に明るい雰囲気となっています。施設自体がまだ新しいので、店内も綺麗で清潔です。客席は、テーブル席16席とカウンター席11席の26席ですが、現在は新型コロナウィルス感染予防の為に、席数を半数としています。



店は、利用者1名と職員2名が働いていますが、昼食時には更に職員1名が応援を行っています。利用者の方は、普段接する事が少ない地域の人たちと接する事が出来、大変楽しく嬉しそうに働いています。最初は、皿洗いが中心でしたが、今では盛り付けや接客などを無難にこなし、店にとって大きな戦力となっています。今後も、地域の人々にとって必要な店と思って頂ける様に、頑張って行きたいと思います。



テーマ  
「はらく」



椅子とテーブルは美浜町が高級でこだわりの品を用意してくれました。営業を開始し8年目を迎え、常連さんもたくさんできました。今年は、先の新型コロナウィルスの影響で、生涯学習センター「なびあす」でのイベント開催が大幅に減りましたが、例年はイベントが開催される土日、祝祭日には多くのお客様に来店して頂いています。



営業時間 10:00~13:30 (火曜~金曜) 定休日 月曜

※現在、コロナに伴い営業時間を変更し、土曜・日曜・祝日も休業となっております。

# 社会福祉法人 福授園御幸事業所 農耕部

テーマ  
**「はたらく」**

## 働くよろこびと社会の一員を感じられる ふくじゅえんファーム “ぶるーびー・・・幸せを呼ぶ青いハチ”

鯖江市の国道8号線沿い、コメリ鯖江店様横のふくじゅえんファーム“ぶるーびー”は新鮮野菜を販売している福授園の野菜直売所です。

オープン以来、地域に根ざしたお店をと願い、働く皆さんと職員で頑張りを積み重ねて今年で5年目を迎えることができ、常連のお客様も増えてきました。

レジ作業の効率化を考えバーコード対応レジスターを導入したこと、どの方も容易にレジに入れるようになりましたお客様への接客も好評です。



### 今、何ができるかを考え、 前に進む農耕を目指して

農耕作業には、小さな種から手間ひま掛けて大きく育て、収穫、包装、販売という「働く」要素がたくさん含まれています。ひとつの作業スキルを習得するまで長い期間を要することもありますが、個々の強みに合わせた作業方法を見つけて、働く皆さん全員が自信を持てるよう作業指導をしています。暑さ寒さも厳しく、効率の良い作業内容を考えても自然相手になると簡単にはいきませんが、どんな時でも、今何ができるかを考え前向きに取り組み、自分たちの働きが直接社会につながるという「働くよろこび」を得られる貴重な場であることを忘れずに日々サポートしています。



なんといってもお店の売りは7棟のハウスや水耕栽培で収穫できる新鮮な葉物野菜（ほうれん草・小松菜・水菜・リーフレタスなど）で、朝から元気に収穫に飛び出して採れたて野菜が満載のかごを抱えて意気揚々と戻ってきます。食品ロス削減に向けて、少々形が悪いものも安価で提供しています。最近、お客様から「ここへ来ると元気をもらいます。ありがとうございます」とうれしいお手紙をいただくことが多く、働く皆さんの励みとなっています。



新聞紙で作った買い物袋も  
形は揃っていませんが  
働く皆さんの手作りです。



営業時間 9:00~16:00

定休日 日曜・祝日（土曜日は月により変動します）

※最新の情報を知らせします LINEのお友達登録はこちらへ



# 令和2年度 活動内容

事業名	実施日	内 容
調査部会	令和2年4月 8月21日	・福井県社会就労センター協議会会員名簿調査 ・福井県社会就労センター協議会会員施設調査 ・新型コロナウイルス感染症への対応にかかる影響課題等に関する調査
研究部会 (セルフ学習会)	令和2年6月25日	・『中堅職員の資質向上や情報交換を含めたネットワーク作りのための学習会の開催』
	9月25日	・令和2年度活動について ・新事業所「ファンズ3」の事業所紹介 ・今後の学習会について
	10月5日	・新型コロナウイルス感染症対策について調査
	11月25日	・新型コロナウイルス感染症対策アンケート集計結果報告
研修部会	令和2年10月17日	・3団体合同研修会でのお手伝い
企画部会	令和2年7~11月	・リーフレット紙面構成についての会議など
広報部会	令和2年6月26日	・広報紙「e-selp」について
	令和3年2月17日	・広報紙「e-selp」の発行
総会	令和2年4月27日	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決書により総会の承認を得た
施設長会議		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3団体合同研修会	令和2年10月17日	・福祉防災研修会 75名参加 テーマ「災害に備えて、本人、家庭、事業所、地域、行政ができること」

## 研修部会活動報告 3団体合同研修会に参加

期日 令和2年10月17日（土）

会場 福井県社会福祉センター

3団体合同研修に初めて参加させて頂きました。今年は感染症コロナウイルスもあり、研修が行えるか心配していましたが主催者の方や後援会の方々の協力もあり、無事開催できたことに感謝いたします。さて、研修テーマ「災害に備えて、本人、事業所、地域、行政ができること」でありますが、講師の高橋 洋氏が話していた現在の日本は大地動乱の時代であると大地震はいつ起きてもおかしくないと話していました。地震と聞いた時は水や食料を備えておけばよいのかなと思っていたが今回の研修で考え方方が変わりました。最近では防災グッズも進化しており、今まで知らなかったような便利グッズが数多く出ています。また、家族と災害時は避難先を話し合っておくことが重要であると思いました。



避難先では子供から高齢者、障がいのある方など様々な方が避難してくるので様々な対応が必要であることや地域の方々の協力も重要であると感じました。例えばこれまでに起きた地震災害の中では地域と連携しているところは避難誘導確認がとても早く行えたと話していました。

最後に研修に参加し、感じたことは地域や障がいのある方、様々な人達と連携し、協力し、助け合うことや相手を思いやる事が地震災害時に必要なことだと感じました。皆さん次回多数のご参加お待ちしております。